

# 南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

## 2026 第16週 (令和8年4月13日～令和8年4月19日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）  
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

16週における麻しんの報告は6件（鹿児島市）でした。高熱や発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状が見られた場合には、事前に医療機関へ相談の上、速やかに受診するようにしてください。  
新年度を迎え、環境が変化した方も多いかと思えます。体調を崩すことがないように、手洗い・うがい・換気の徹底と十分な睡眠の確保を心がけましょう。

### 1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	11週	12週	13週	14週	15週	16週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	-	-	-	加世田	40.50	40.50	51.50	40.50	40.50	27.50
				指宿	27.00	20.00	30.00	15.00	20.00	18.00
				県	50.72	51.46	47.32	41.18	41.82	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	4.00	6.00	5.50	5.00	0.50	0.50
				指宿	8.00	5.50	3.00	0.50	0.50	-
				県	6.70	6.00	3.86	1.68	0.77	0.46
COVID-19	-	-	-	加世田	-	3.50	-	0.50	-	-
				指宿	-	-	1.00	0.50	-	-
				県	0.18	0.32	0.18	0.26	0.26	0.19
RSウイルス感染症	-	-	-	加世田	-	-	-	2.00	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.94	0.94	0.84	1.06	0.90	1.10
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	加世田	-	-	-	-	1.00	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	1.00	1.00	1.48	0.81	1.29	0.81
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	加世田	-	-	1.00	2.00	-	1.00
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	3.19	2.94	3.06	2.03	2.29	2.55
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	加世田	21.00	20.00	19.00	6.00	5.00	5.00
				指宿	2.00	7.00	7.00	13.00	8.00	7.00
				県	6.10	8.32	6.48	5.03	3.55	4.58
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	1.00	-	-
				県	0.19	0.32	0.61	0.19	0.32	0.16
手足口病	5.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	0.03	-	0.06	0.35	0.77
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	加世田	-	-	-	-	1.00	-
				指宿	-	-	2.00	-	-	-
				県	0.55	0.19	0.32	0.23	0.26	0.16
突発性発しん	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	1.00	1.00	-	-	-
				県	0.29	0.32	0.23	0.26	0.42	0.35
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	-	0.03	0.03	0.06	0.10
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	-	-	0.03	-	-

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

**警報** 流行発生警報の基準値を超えた疾患

**注意報** 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

◎警報発令中

○注意報発令中

加世田保健所  
指宿保健所

(なし)  
(なし)

(なし)  
(なし)

### 2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第16週 (4月13日～4月19日)	指宿：腸管出血性大腸菌感染症4件 (無症状病原体保有者)
-----------------------	---------------------------------

### 3 南薩地域で注目すべき感染症

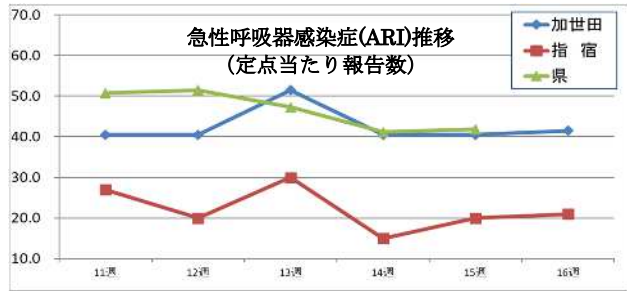
※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

#### 急性呼吸器感染症（ARI）

第16週の報告数は、加世田保健所管内で55人（定点当たり27.50）でした。

指宿保健所管内では、36人（定点当たり18.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（40人）、5～9歳（23人）、0歳（11人）の順に多く報告されています。

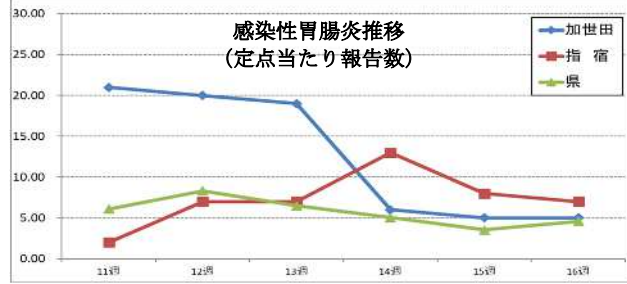


#### 感染性胃腸炎

第16週の報告数は、加世田保健所管内で5人（定点当たり5.00）でした。

指宿保健所管内では、7人（定点当たり7.00）でした。

県全体では、142人（定点当たり4.58）でした。

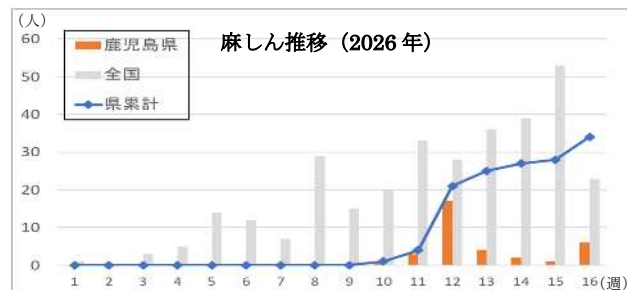


#### 麻疹

4月21日時点の第16週の報告数は、鹿児島県で6人でした。

全国では、23人でした。

第1週から第15週の累計報告数は、東京都（108人）、神奈川県（31人）、鹿児島県（28人）の順となっています。



### 今週の話題

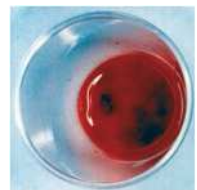
### 腸管出血性大腸菌感染症ってどんな病気？

大腸菌は、人の腸管をはじめ様々な場所に生息し、その多くは無害です。しかし、牛の腸管などに生息する一部の**大腸菌は、ベロ毒素と呼ばれる毒素を産生し、この大腸菌が付着した牛肉等を摂取すると、激しい腹痛、頻回の水様便、血便などの症状を引き起こすことがあります。腸管出血性大腸菌感染症とは、ベロ毒素を産生する大腸菌が原因の感染症です。**



#### ○ 症状

症状は様々で、まったく症状が出ない場合もあれば、軽い腹痛や下痢だけでおさまることもあります。一方で、何度も水様便が出たり、激しい腹痛やひどい血便がみられたりして、重い合併症を引き起こし、命に関わることもあります。多くの場合は、およそ3～8日の潜伏期をおいて頻回の水様便で発症します。その後、激しい腹痛を伴い、しばらくするとひどい血便となることがあります。発熱はあっても、多くは一過性です。



出典：[腸管出血性大腸菌感染症（詳細版） | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)

これらの症状のある者の6～7%の人が、下痢等の初発症状の数日から2週間以内（多くは5～7日後）に溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症等の重症合併症を発症するといわれています。

**激しい腹痛と血便がある場合には、特に注意が必要です。**

#### ○ 溶血性尿毒症症候群（HUS）とは？

HUSは、ベロ毒素の影響によって腎臓の細い血管の中に血のかたまりができ、そのために血小板が使われて減少し、さらに詰まった血管を通るときに赤血球が壊れて貧血が起こります。こうした変化が重なることで、急性腎不全を引き起こす状態をいいます。HUSの初期には、顔色不良、乏尿、浮腫、意識障害等の症状が見られます。**腸管出血性大腸菌感染の重症合併症の一つであり、子どもと高齢者に起こりやすいのでこの年齢層の人々には特に注意が必要です。**

参考：[腸管出血性大腸菌Q & A | 厚生労働省](#)